

2022年度事業計画

2022年度収支予算

学校法人山脇学園

1. 法人の概要

名称 学校法人 山脇学園（平成15年10月1日法人設立）
代表者 理事長 山脇 成子
住所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
電話 072-751-1828
FAX 072-751-1826

設置する学校及び保育園

住 所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
名 称 友星幼稚園
住 所 大阪府箕面市森町中1丁目1番地6号
名 称 森町友星保育園
役 員 理 事 6名 監 事 2名
評議員 13名
理事会 2回開催 評議員会 2回開催
職 員 64名（幼稚園 35名、保育園 29名）

【 友星幼稚園 】

《教育方針》

やさしく思いやりのある子ども・強くたくましく元気な子ども・豊かな感性をもつ子ども

《教育内容》

通常保育の中に絵画、英語、体育の専門の講師との活動も入れ子どもたちの協調性や創造性、やり通す精神力など調和のとれた心と体づくりをめざしています

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	12	2	40	2	55	2	55	7	162
2020年度	1	1	2	48	2	47	2	50	7	146
2021年度	1	1	2	45	2	56	2	52	7	154
2022年度	1	12	2	39	2	57	2	56	7	164

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時

《納付金》

保育料 無償化のため徴収なし
教材費 月額 1,200円
施設維持費 月額 2,000円

《入園時の費用》

入園料 [3・4歳児] 50,000円 [5歳児] 25,000円
検定料 1,500円

《預り保育の時間及び費用》

月曜～金曜日

午前8時～8時45分（100円）

午後2時～午後6時（800円）

午後6時～午後7時（200円UP）

土曜日

午前9時～午前11時30分（800円）※勤務証明書が必要

午前9時～午後5時（弁当持参）（1,500円）※勤務証明書が必要

◎月極制度有（10,000円～）

◎春・夏・冬季の長期休暇中も実施（年末年始・年度末・年度始め除く）

《行事予定》

園外保育、保育参観日、納涼保育、お泊り保育、運動会、生活発表会、作品展、誕生会（毎月）、身長・体重測定（毎月）

《施設関係》

園地面積2,765m² 運動場面積1,250m² 園舎面積651m²

施設点検を怠らず、維持検討のため修繕費用を計上。

《設備関係》

機器備品等の更新の有無を判断し予算計上。

【森町友星保育園】

《保育方針》

乳児期・・・・よくたべる子ども、よくねむる子ども、よくあそぶ子ども

幼児期・・・・やさしく思いやりのある子ども、強くたくましく元気な子ども、
豊かな感性をもつ子ども

《保育目標》

身体は元気に、心は豊かに

保育園定員60人	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	
2020年度	6	23	22	3	2	2	58
2021年度	3	24	28	2	4	0	61
2022年度	2	23	21	9	4	4	63

《保育時間》

開園時間 午前7時

閉園時間 午後7時30分

保育時間 午前9時～午後5時

《計画内容》

2021年は、新型コロナウイルスがデルタ株、オミクロン株と変異が進み、特にオミクロン株は、重症化リスクが少ないが感染力が強いため、医療機関、特にエッセンシャルワーカーといわれる現場で、働き手が感染し、事業の継続が不安視され、事業継続体制の確立が声高にいわれている。また、乳幼児を預かる我々のもとでも感染

が拡大、多数の園で休園が発生し、社会経済活動が心配されている。

新型コロナウイルスの感染対策については、引き続き行い、園全体の安全を確保し、着実な運営を行うこととする。

このような状況の中、厚生労働省では出生数推計について、新型コロナウイルスの影響により2021年から推計しないことになっているが、実数速報値から概ね2021年の出生数は84万3千人の出生数と予想され、婚姻数については前年度より12%以上減少しているので、2022年以降も少子化は一層進むことが予想される。

については、園の運営の鍵は、園児の確保と教職員組織の安定であり、園児確保については、未就園児クラスの充実及び満3歳児入園者の獲得が、将来の園の存亡に大きく影響を及ぼすことになる。そのため、ホームページの充実及びスマートフォン対応を確実に図ることが重要であり、園児募集の方法についても、感染症対策から非接触型も求められており、今後も検討を重ねていくこととする。

採用状況についても、養成校において学生数が大幅に減少しているので、新卒者を確保することが非常に困難になってきている。応募者を確保するため、養成校はもとより人材派遣会社等の情報を収集する必要があり、また、働きやすい環境を整備するため、就業規則を確実に整備し、明るい園運営を目指すこととする。

子ども子育て支援新制度がスタートしてから移行が進み、2022年度は171園が私学助成で事業を継続予定である。友星幼稚園は、2022年度も私学助成で継続する。そのような状況下、新年度の園児数は、前年度より10名増の7学級164名となる。また、森町友星保育園の園児数は、前年度より2名増の63名のスタートとなる。

財務状況については、事業活動収支計算書より、幼稚園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が137,634千円、教育活動支出計が124,500千円となり、教育活動収支差額は13,134千円のプラスとなる。また、教育活動外収支差額が5千円のプラスとなり、経常収支差額は13,139円プラスとなる。特別収支差額が0千円のため、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は13,139円プラスとなる。

また、保育園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が121,071千円、教育活動支出計が124,380千円となり、教育活動収支差額は3,309千円のマイナスとなる。また、教育活動外収支差額が1千円のプラスとなり、経常収支差額は3,308千円マイナスとなる。特別収支差額が0千円のため、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は3,308千円マイナスとなる。

学園としては、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は9,831千円のプラスと良好な経営状況を維持することができる。

《収支予算》

別紙のとおり

幼稚園部門

保育園部門